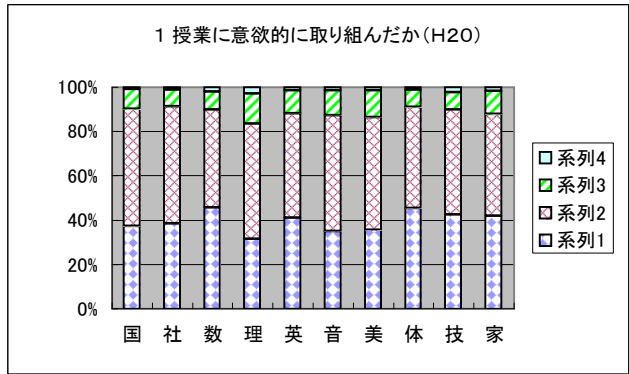
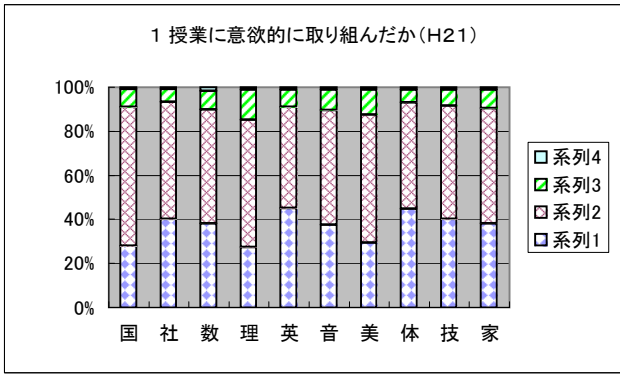
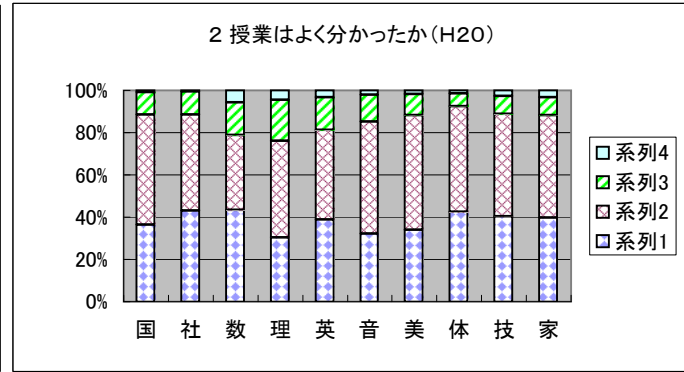
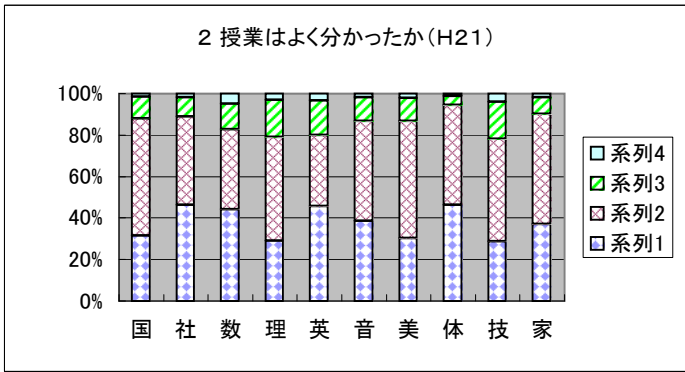


平成21年度 学校評価生徒アンケート(7月)結果分析グラフ(全校生徒分)



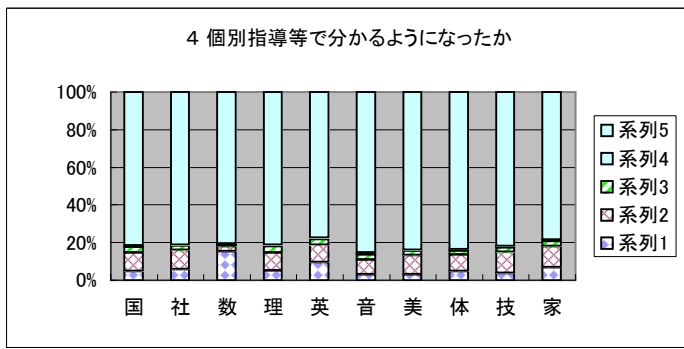
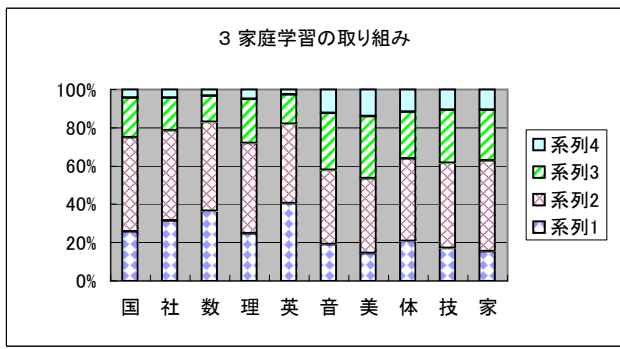
系列1: 意欲的に取り組んだ
 系列2: だいたい取り組んだ
 系列3: あまり取り組んでいない
 系列4: まったく取り組んでいない

【分析・考察】
 否定的評価割合をみると昨年度と比較し全体的には1.3ポイント少なくなっており、
 成果が伺える。しかし、一部教科をみると昨年度比に対して成果があがっていない。
 生徒の意欲を向上させる授業改善を検討する必要がある。



系列1: よく分かった
 系列2: だいたい分かった
 系列3: あまり分からない
 系列4: まったく分からない

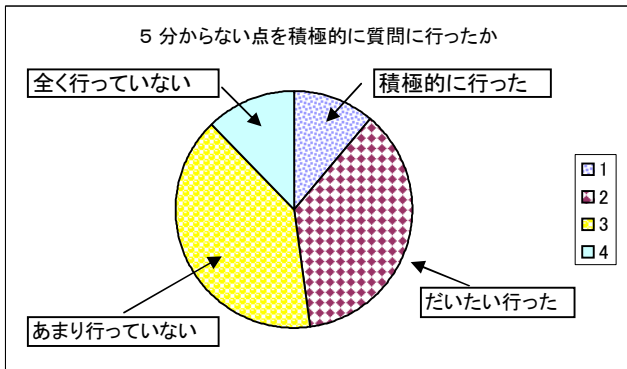
【分析・考察】
 「よく分からない」と自己評価する生徒の割合は全体的には昨年度と比較し1ポイ
 ント少なくなっているが目標数値に達していない。また、「よく分かる」・「概ね分か
 る」という肯定的評価が80ポイントを下回る教科がみられ今後の大きな課題とな
 る。



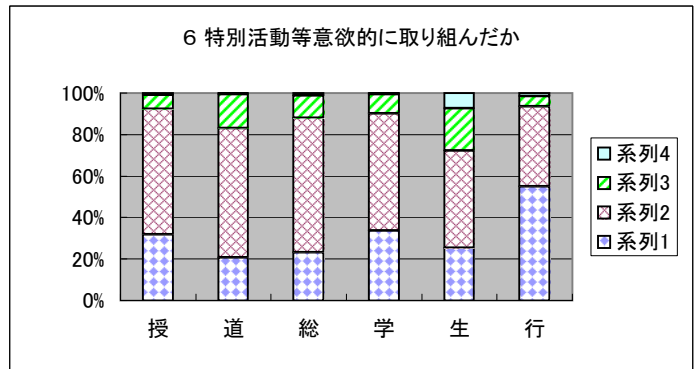
系列1: しっかり取り組んだ
 系列2: だいたい取り組んだ
 系列3: あまり取り組んでいない
 系列4: まったく取り組んでいない

系列1: よく分かるようになった
 系列2: だいたい分かるようになった
 系列3: あまり分かるようにならなかった
 系列4: まったく分かるようにならなかった
 系列5: 個別指導の機会がなかった

平成21年度 学校評価生徒アンケート(7月)結果分析グラフ(全校生徒分)

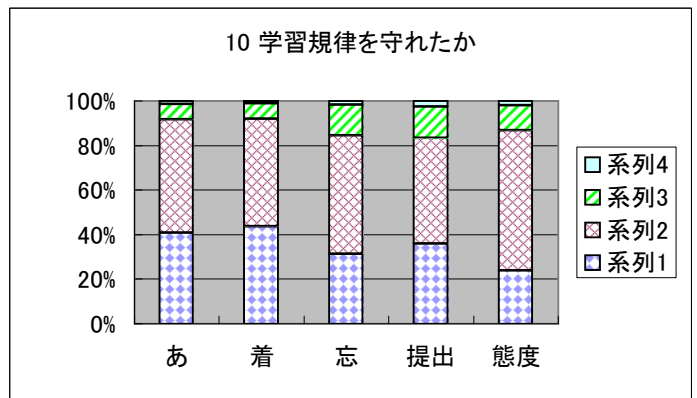
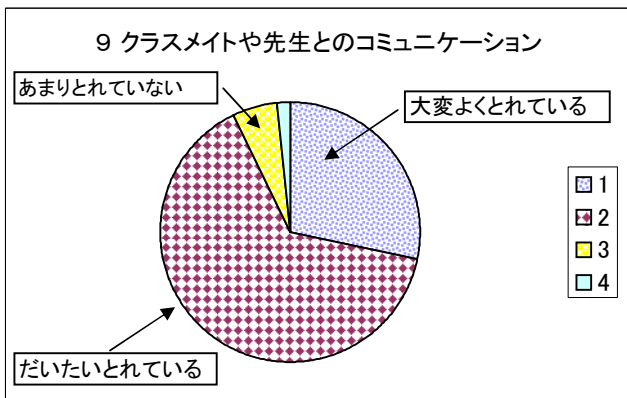
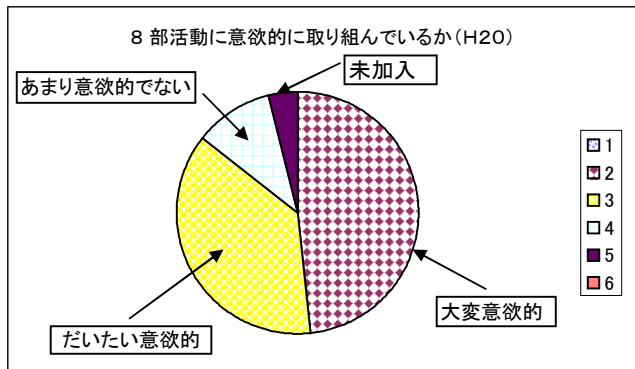
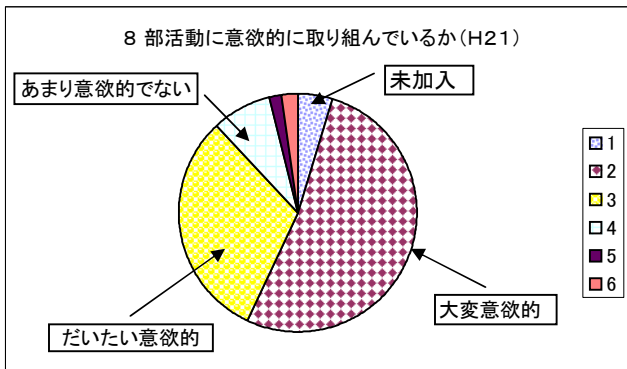
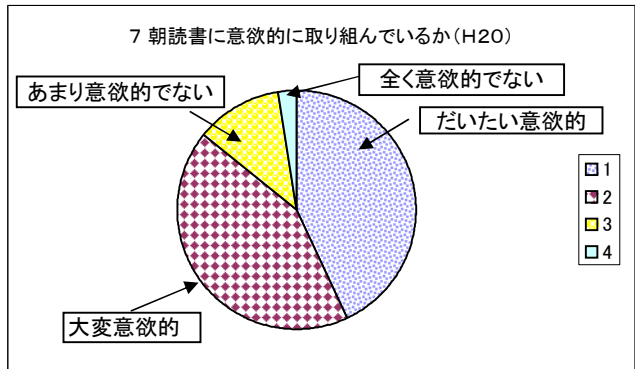
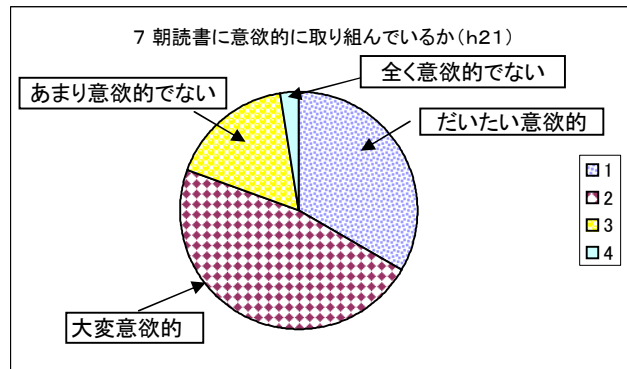


【分析・考察】
 分からない点があっても積極的に質問に行っていない生徒が半数を超えているのは機会に恵まれなかった事も考えられ、今後教師の積極的な働きかけが必要となる。



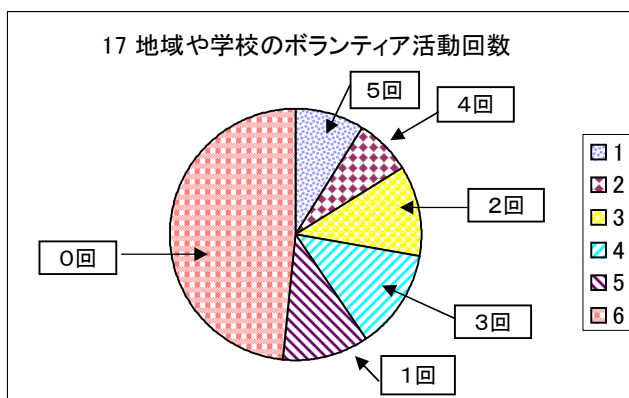
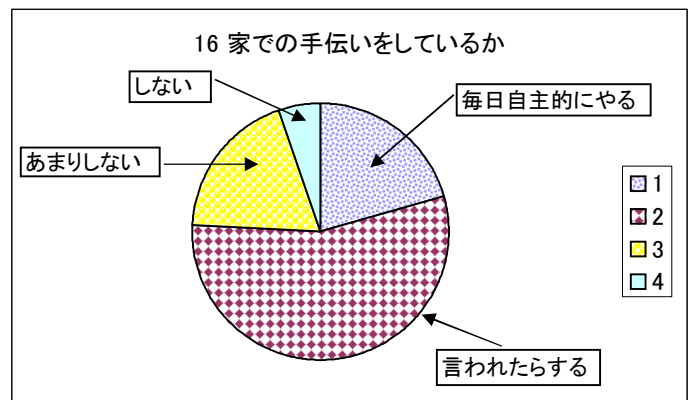
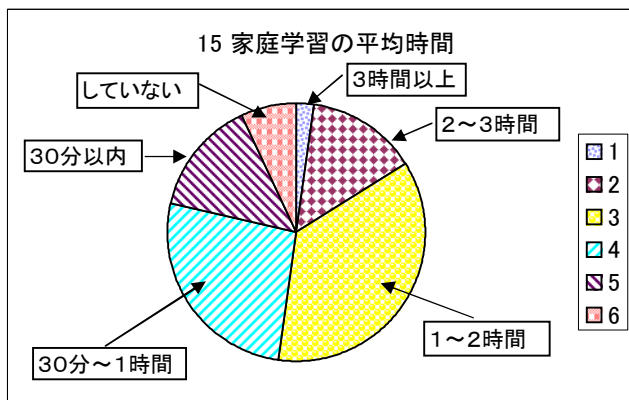
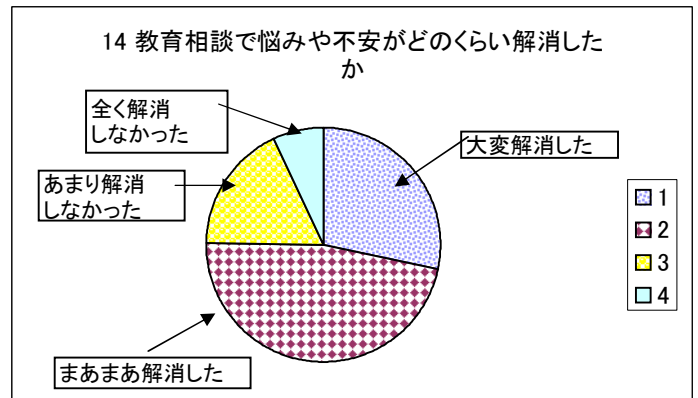
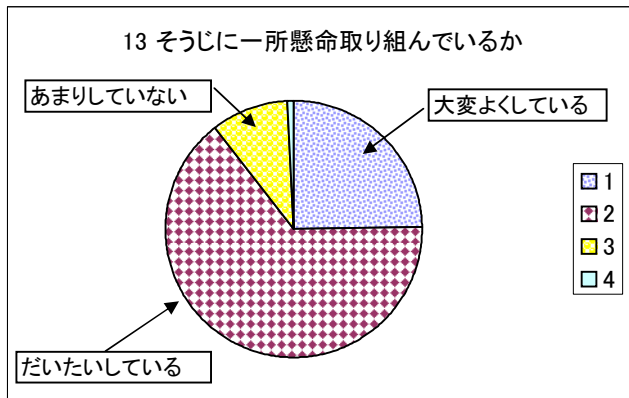
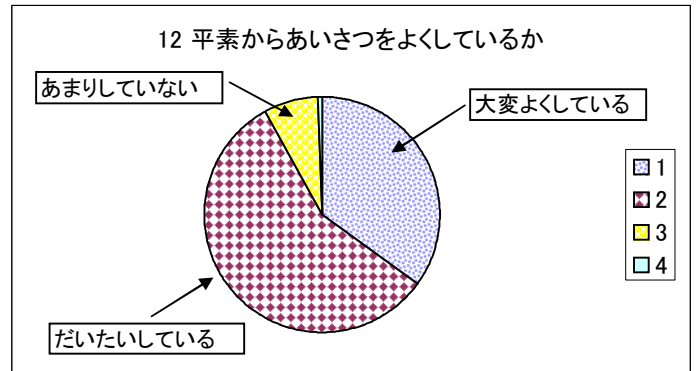
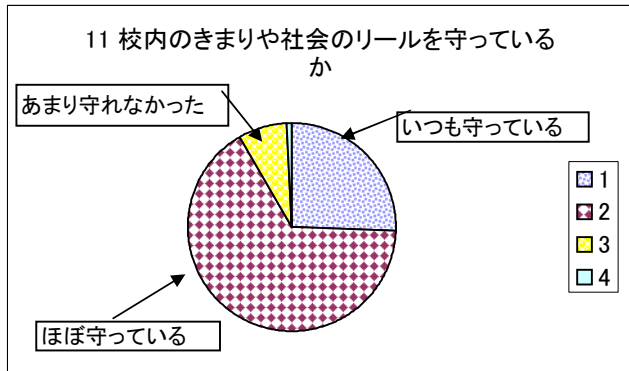
系列1: 大変よく取り組んだ
 系列2: だいたい取り組んだ
 系列3: あまり取り組んでいない
 系列4: まったく取り組んでいない

【分析・考察】
 行事への取り組みは肯定的評価が非常に高く、参加意識の強さが伺える。特に、総合的な学習への意欲は一昨年度では51ポイントであったものが本年度は88ポイントとなっており、37ポイント上昇している。今後もコミュニケーション・国際理解教育を中心に探求的・横断的な活動を取り入れて充実を図りたい。

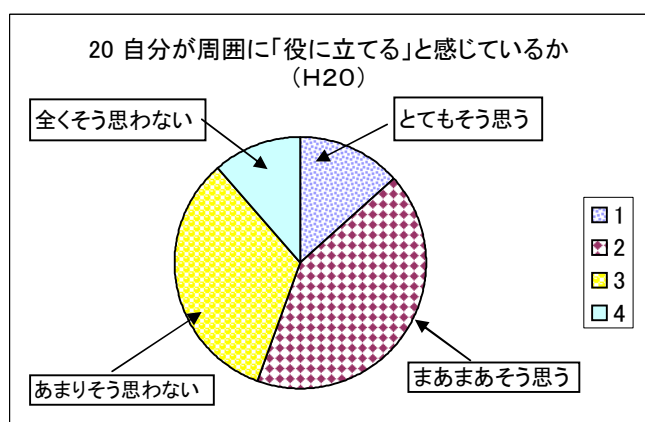
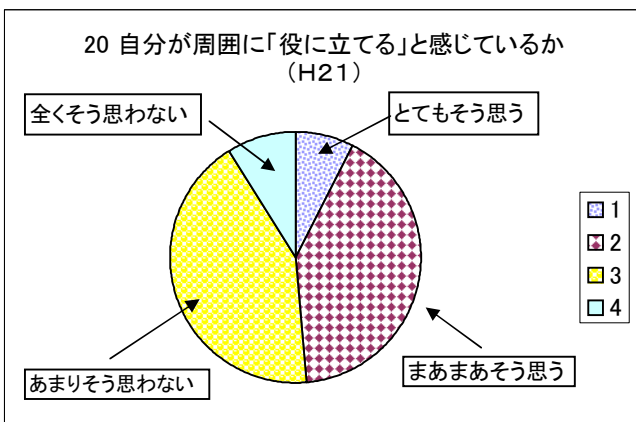
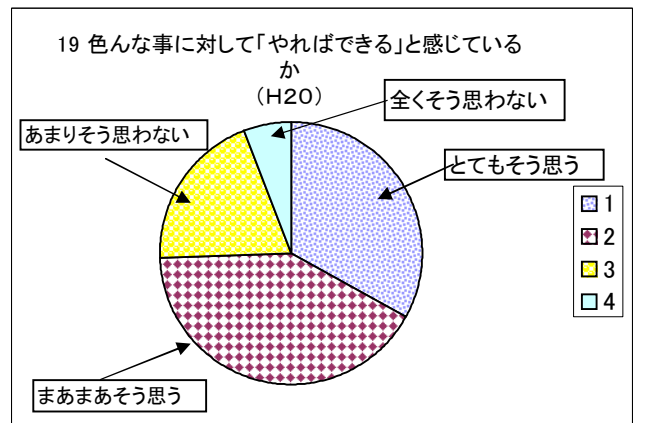
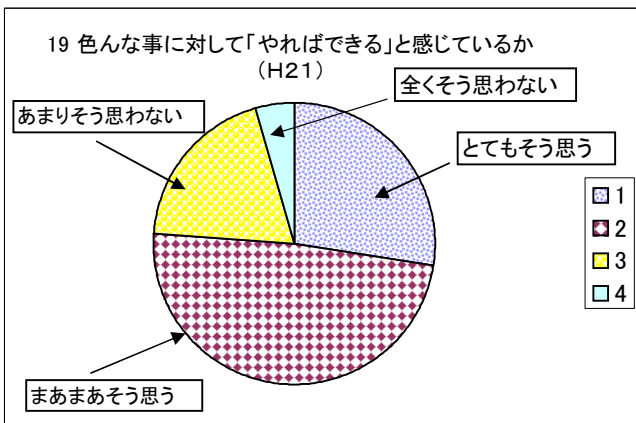
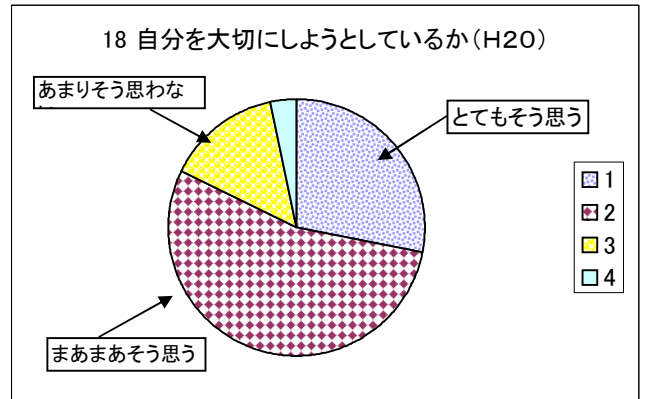
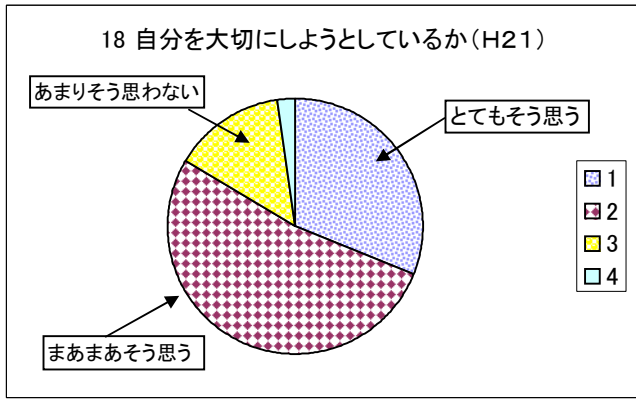


系列1: よく守れた
 系列2: だいたい守れた
 系列3: あまり守れなかった
 系列4: まったく守れなかった

平成21年度 学校評価生徒アンケート(7月)結果分析グラフ(全校生徒分)



平成21年度 学校評価生徒アンケート(7月)結果分析グラフ(全校生徒分)



【分析・考察】
 「自分を大切にする」「やればできる」「役に立てる」といった自己肯定感や効力感・有用感の否定的評価割合をみると、「自分を大切にする」「やればできる」という点は、2項目とも前年度比で約2ポイント少なくなっている。この点は成果がみられるが、周囲に対して「役に立っている」という項目では否定的評価が前年度と比べて約7ポイント増加している。授業や特別活動などにおける活動に工夫と改善をより一層試みる必要があり、大きな課題となっている。